

## エントリー12

Q1.学習会のコンセプトについて記入してください。

- 学習会名称 ( 建交労北海道本部青年部・青森県労連青年連絡会 合同学習会 )
- 主催者 ( 建交労北海道本部青年部 )
- 対象者 ( 建交労北海道本部青年部・青森県労連青年連絡会・道労連青年協(一部) )
- 開催日 ( 2015年 7月 17日(土) )
- 開催場所 ( 函労会議2階 )
- なぜその学習会を企画したか

今年1月に行われた全労連青年部代表委員会で青森自治労連の高橋氏との会話で、「青森県と北海道合同で何かイベントを企画できればいいですね」という話がもちあがったこと。また、建交労北海道本部青年部で、今まで他県と合同で何かをするということがなかったため、企画してみました。

○企画するにあたって、運営で工夫した点は？

せっかくの企画だったため、失敗したくないという思いから、とにかく人数を多く集めたかった。そのため、北海道でも建交労の青年部だけではなく、せまい範囲ではあるが、道労連青年協のメンバーにも参加要請を呼びかけて人数集めに努めました。

○苦労した点は？

とにかくお金です。開催場所の函館市に行くにあたり、日帰りであるというのは無理なため、交通費及び宿泊費を考え、少ない予算だったため、苦労しました。

また、参加人数を集める際も、今まで建交労北海道本部青年部でまったく活動していなかったため、人数が集められなかったです。

Q2.参加者について記入してください。

- 参加人数 目標( 30 )人 実際に参加した人数( 16 )人
- 参加者からの感想は？

今までこういった組合活動に参加したことがないという組合員がほとんどだったため、今回参加して、他の組合員と交流することがいい刺激になったようです。これからも、こういったイベントがあれば参加したいという声がありました。

○どんな総括をしましたか？

今まで同じような企画で、参加者も固定されてしまっていたため、より多くの組合員に参加してもらえるような、企画を提案していかなければならない。

○総括を踏まえて、次に活かそうと思う点など

とにかくより多くの組合員に参加してもらえることが大事である。  
毎回同じ開催場所で同じ参加者で行うのではなく、常に新しい企画、その時々にあった開催場所などを考えていかななくてはならないと思いました。

○その他、学習会を行って気づいたこと

学習会以外の他の組合活動（イベント）でもいえることだが、毎年の年間行事だから行うという考えではなく、なぜ行わなければならないのか（行うことの必要性）、どういう結果をもとめなければならないのか、次にどう繋がるかを考え企画していかなければならないとおもいました。

2015年7月17日

函労会議2階

## 建交労北海道本部青年部・青森県労連青年連絡会 合同学習会 レジュメ

### 1. 開会あいさつ

### 2. 学習会

核廃絶および脱原発にむけて私たちが取り組むべきこと

お話しする人～建交労全国青年部長 菅野雅臣さん

### 3. 閉会あいさつ

### 4. 諸連絡

### 5. フィールドワーク

・啄木公園 函館から大間原発を望む

・函館奉行所 鎖国から開国へ開港と外交の歴史を探る

### 6. 交流会